

## 2020年度 体操部 メンバーインタビュー

部員数	20人以下	主な成績
所属学群	体育専門学群, 人文・文化学群, 社会・国際学群, 人間学群, 理工学群, 医学群, その他（大学院など）	Gym for Life Challenge2017 シルバーメダル 世界体操祭2019出場 第15回全日本学生ラト選手権 団体優勝
練習場所	中央体育館1F・体操場	

菊池 月（体育3年/主将）

森本朝子（障害科学2年）

### 一 私が目指す「体操」

#### 菊池

体操は唯一、体育会系の部活の中で「競技」ではない、競うことをしないスポーツです。そこで、本年度のチーム運営では、部員一人一人が自分自身の動きを高めると共に、楽しむことを一番に重視しています。部活を終えて帰るときに、楽しい気持ちで「今日1日、充実していた」感じられるようなチームを目指しています。

#### 森本

できることが増えていくこと、またパフォーマンスを楽しむことを大事にしています。



## — 筑波大学をどう思っていた？

### 菊池

私は、体育系の学部に行きたかったので筑波大学を志望しました。また、オープンキャンパスで実際に筑波大学に来ると、「森」と言われているように、自然が多く、伸び伸びした生活ができそうだという印象を持ちました。キャンパスの広さにも惹かれました。

私の出身が東京都ということもあり、自然に囲まれて生活できることが、とても新鮮でした。

### 森本

筑波大学を志望した理由は、「障害科学類」という、障害について教育だけでなく、いろんな視野から学べる学部が唯一筑波大学にあったからです。

大学の印象は、やっぱり「広くて大きい」ですね。

## — 今のチームで学んだこと、チームの好きなおとこ

### 菊池

「勝つ」という明確な目標がないので、自分たちで目標を立てていかなくてははいけません。だからこそ、どの部よりも自主性を持って活動することが必要です。強制ではない中で、部員それぞれが、自然とやりたいと思えるような活動。ある意味、今の時代にあった、新しい部の運営についてすごく考える機会を得ました。

さらに、体操はスポーツの特性として、頭を使って、「こんなことができたなら面白いのではないか？」ということを考えていきます。頭を使ったり、日常生活でも役立つような、逆転の発想、新しい発想を学びました。

### 森本

普段の生活では体験できないような動き、体操をやることでしか味わえないような感覚が楽しいです。



## — これからの目標（直近の目標、人生の目標）

### 菊池

国内で「体操」と聞くと、「体操競技」や「新体操」が連想されます。ヨーロッパや海外では、大きな大会もあり、世界各国から体操愛好家が集まるイベントがあります。平和で、競わない、お互いをリスペクトするこのスポーツの良さを国内でも広めたいです。

また、競技スポーツをしている皆さんにとっても、「競技ではない世界を知る！」ということはいいい刺激になると思います。「勝たなければいけない訳ではない」ことを学べるスポーツ、もっと知ってほしいと思っています。

### 森本

部活では、いろんなことができるようになること。またいろんな言動で、ちゃんとした先輩になることを目標にしています。

## — 未来のチームメイトに一言

### 菊池

私自身、体育専門学群の大学受験を経験して、実技と勉強、大変なところもたくさんあると思います。大学では、体操部などのように、新しいことに会うこともできるでしょうし、可能性がたくさんあります。今は少し踏ん張って、頑張ってください。

### 森本

大変だと思いますが、今はとにかく頑張って、一緒に活動できる日を楽しみにしています！

